

2021年度 全学内部質保証【結果】

PLAN(計画)		DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)					
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。		D:計画を実行しその効果を測定する。		C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる					
		実施状況(実施率)		評価		評価の理由/課題/根拠データ等					
①-1学部・研究科および全学委員会のPDCAサイクルを拡大内部質保証委員会、自己点検委員会ともに点検を行う。 ①-2自己点検報告書の公表		①ピアレビューをグループで行い、大学運営会議で承認 ホームページに公表した。②としては実施できていない		PDCAサイクルの公表は行ったが、自己点検報告書としてはまとめられていない①100% ②		②について 今後まとめていくべきであると考えられる		HP 本学について→ 内部質保証の取組		2022年度は自己点検報告書としてPDCAサイクルを総括する	
②-1全学FDの実施 ②-2教員、職員を対象にしたオンラインFDの実施		①全学FD実施 9月16日:全学FD研修会:テーマ「本学入試種別と入学後成績データの分析」 3月16日:全学FDSD研修会:テーマ「本学の教学マネジメント」 ②オンラインFD実施 ①(4月8日:2020年度学修状況調査の報告,山崎教務部長),②(4月28日:本学のブランディングについて,馬渡大学ブランディング推進委員長),③(7月14日:桜美林大学の教学マネジメント,桜美林大学和田満学務部長),④(7月19日:戦略企画委員会合同企画「プロジェクト中間報告」浜プロジェクトリーダー,小林プロジェクトリーダー),⑤(10月14日:データサイエンスについて,藤田邦彦教授),⑥(11月8日:経理ペーパーレス化,品田経理部長補佐),⑦(12月13日:マイノリティサポート,三保センター長),⑧(1月18日:BIツールについて,文野教務委員長)		①2回中2回実施(100%)②8回予定中8回100%		オンラインFDの実施が100%であったが、年最初に立案したわけではなく、都度開催計画をたてた。今後期初立案でストックする必要がある、全学FDなどでのアンケートを基盤にしたい		全学FDアンケート結果(ポータルサイト 教員組織ドキュメント内内部質保証委員会)		今後、アンケート結果を参考に内部質保証委員会でタイムリーな話題を提供する	
③外部評価懇談会の実施		③2021年度 外部評価懇談会 開催日時: 2021年9月16日(木) 外部評価懇談会 10:00~12:00 開催場所:オンラインTeams(外部評価懇談会) テーマ:本学入試種別と入学後成績データの分析 外部評価委員 菊池重雄先生:玉川大学 名誉教授・特任教授 川島啓二先生:京都産業大 共通教育推進機構客員教授・初年次教育センター長 杉谷祐美子先生:青山学院大学 教育人間科学部教育学科教授 学部発表者 外国語学部(渡部吉昭入試委員長)・経営学部(大野和巳入試委員長)・人間学部(文野洋教務委員長)・保健医療技術学部(藤本薫入試委員長)・GCI(小林GCIセンター長)		100%		実施完了した		HP 本学について→ 内部質保証の取組 →外部評価懇談会議事録(令和3年9月16日)		来年度も同様に行う	

2022年度 全学内部質保証

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
①-1学部・研究科および全学委員会のPDCAサイクル実施と公表 ①-2自己点検報告書の公表 ①-3ガバナンスコードの点検および公表 ②-1全学FDの実施 ②-2教員、職員を対象にしたオンラインFDの実施
③外部評価懇談会の実施
④改革総合支援事業について 本委員会で計画・執行を担当する
⑤各学部DP改訂